選奨（技術振興賞/映像情報メディア未来賞）受賞者論文

特集編集委員長 三ッ峰秀樹

映像情報メディア学会では、毎年、映像情報メディアに関し優れた業績、成果をあげた技術者・研究者を表彰*しています。この中で【技術振興賞】、【映像情報メディア未来賞】は、映像情報メディアに関する方式・システム、機器、デバイス、コンテンツ制作等の研究・開発における顕著な成果に対して贈られる賞で、2020年度は8件の個人・グループが受賞されました。

そこで、和文論文編集委員会では、2020年度に【技術振興賞】と【映像情報メディア未来賞】を受賞された方々に受賞した研究・開発の成果に基づいた論文・フィールド論文のご執筆を依頼致しました。ここに掲載した論文は、放送現業にかかわる映像処理技術、映像・音声伝送技術、新しい視聴方式を実現するための情報処理技術、高品質テレビジョンにかかわる高臨場感音響技術など、映像情報メディアの発展につながる内容を扱っております。本特集が読者の皆様にとって、研究の進展や新興にお役立ていただけることを願っております。最後になりましたが、本特集にご協力を頂きました査読者の方々に、この場を借りてお礼を申し上げます。

*丹羽高柳賞，技術振興賞，映像情報メディア未来賞，鈴木記念奨励賞，優秀研究発表賞

2022年1月号論文特集編集委員会体制

特集編集委員長

三ッ峰秀樹 NHK

特集編集副委員長

安藤慎吾 NTT

特集編集委員

小林彰夫	筑波技術大学	外山 史	宇都宮大学
孫 泳青	NTT	中村篤志	静岡大学
田中賢一	長崎総合科学大学	渡邊 修	拓殖大学
筒井 弘	北海道大学		